

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 01 道路環境の整備

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市が管理する道路施設及び都市計画に位置付けている都市計画道路、道路利用者	道路施設の計画的な整備と適切な維持管理が行われ、道路利用者の安全性や利便性、快適性が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	幹線道路に満足している市民の割合 【道路河川課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
		%	76.0	-	80.8	→	☀
評価	(状況) 幹線道路に満足している市民の割合は80.8%で、前回(H30) 81.6%と比較すると0.8ポイント減少しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると4.8ポイント増加しており、順調です。 (原因) 道路整備年次計画に基づき道路の拡幅や道路舗装修繕等を効率的に実施し、適切な維持管理をしていることが、幹線道路に満足している市民の割合の向上につながっていると考えられます。						☀ (向上)
		目標達成度	☑ (達成)				

指標	生活道路に満足している市民の割合 【道路河川課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
		%	73.1	-	73.3	→	☁
評価	(状況) 生活道路に満足している市民の割合は73.3%で、前回(H30) 77.4%と比較すると4.1ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.2ポイント増加しましたが、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲であり横ばいの状態です。 (原因) 道路整備については、幹線道路や交通量の多い路線など緊急性・重要性等を考慮し整備しているため、新たに着手できる生活道路が少ないことが横ばいの要因と考えられます。						☁ (横ばい)
		目標達成度	■ (低)				

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 道路の整備

基本事項 02 道路維持管理の推進

基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進

基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項01 道路の整備

指標	市道の改良率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	64.2	64.5	64.7	→	☀️ (向上)
評価	(状況) 市道の改良率は64.7%で、前年度と比較すると0.2ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると0.5ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 市道3路線の改良工事L=1,081mを実施しましたが、市道認定路線が6路線増え、管理延長についても849m増えたことにより、実績値が微増となっています。						☀️ 目標 達成度 ☀️ (達成)

基本事項01 道路の整備

指標	市道の舗装率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	70.3	70.9	71.2	→	☀️ (向上)
評価	(状況) 市道の舗装率は71.2%で、前年度と比較すると0.3ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると0.9ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 生活道路等の利用状況を精査し14路線、延長約1,592mの舗装を実施しましたが、市道の認定路線が6路線増え、管理延長についても849m増えたことにより、実績値が微増となっています。						☀️ 目標 達成度 ☀️ (達成)

基本事項02 道路維持管理の推進

指標	道路維持管理上の不具合による事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	件	3	2	6	0	☔️ (低下)
評価	(状況) 道路維持管理上の不具合による事故発生件数は6件で、前年度と比較すると4件増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると3件増加し順調ではありません。 (原因) 定期的なパトロールや「レポナウすかがわ」への投稿情報などから、道路の不具合に対し早急な修繕対応等を行っていますが、道路施設の老朽化や交通量の増加に伴う劣化等により、施設の損傷箇所が増加していることが要因となっています。						☔️ 目標 達成度 ☔️ (低)

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標	橋りょう定期点検実施率(2巡目:2019(R1)年~2023(R5)年)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	79.8	2.4	26.0	80.0	☀️ (向上)
評価	1巡目:2014(H26)年~2018(H30)年 (状況) 1巡目の橋りょう定期点検実施率は100%で、2巡目の点検実施率は26.0%(108橋/416橋)です。 (原因) 平成26年度より開始した1巡目(5ヶ年)の橋りょう定期点検が平成30年度に完了し、令和元年度より2巡目となる橋りょう定期点検(2年目)が順調に実施されたためです。						☀️ 目標 達成度 ☀️ (高)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 道路の整備

基本事項 02 道路維持管理の推進

基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進

基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標	橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【道路河川課】	%	5.0	49.0	53.2	80.0
評価	(状況) 橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率は53.2%で、前年度と比較すると5.2ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると48.2ポイント増加しており、順調です。 (原因) 道路メンテナンス補助事業を活用し、橋りょう長寿命化計画に基づき、下鶴橋ほか1橋の橋りょう修繕工事を実施したことによるものです。					目標達成度  (中)	

基本事項04 都市計画道路の整備

指標	都市計画道路の整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【都市計画課】	%	84.5	85.0	85.4	85.7
評価	(状況) 都市計画道路の整備率は85.4%で、前年度と比較し0.4ポイント、総合計画基準値(H28)と比較すると0.9ポイント増加しており、順調です。 (原因) 国道4号を補完する関下一里坦線の狐石工区が令和2年度に完了し、供用を開始したためです。					目標達成度  (高)	

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 02 住環境整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市域	市街化区域の利便性が高まり、暮らしやすい住環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標	市街化区域の人口割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【都市計画課】	%	52.2	53.8	53.9	→
評価	<p>(状況) 市街化区域の人口割合は53.9%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.7ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 市街化区域内の暮らしやすい住環境整備が進み、利便性が向上していることが要因と考えられます。</p>					目標 達成度 ☀ (達成)	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 適切な土地・建物の利用推進

基本事項 02 都市機能の集約

基本事項 03 安全で快適な公園緑地化の推進

基本事項 04 良好な都市景観の創出・維持

基本事項01 適切な土地・建物の利用推進

指標	違反是正の行政指導を行った建築物等の数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【建築住宅課】	棟	0	0	0	0	
評価	(状況) 違反是正の行政指導を行った建築物等の数は0棟で、前年度及び総合計画基準値(H28)の0棟を維持しています。 (原因) 建築物等の確認審査、完了検査を厳正に行うことにより、適正に建築されていることが原因と考えられます。					(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事項01 適切な土地・建物の利用推進

指標	市街化区域内の未利用地面積	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【都市計画課】	km ²	3.3	3.3	3.3	2.4	
評価	(状況) 市街化区域内の未利用地面積は3.3km ² で、前年度及び総合計画基準値(H28)と同数で、横ばいです。 (原因) 開発行為等による土地利用は進んでおりますが、成果指標値に表れるほどの未利用地面積の減少には至りませんでした。					(横ばい) 目標達成度 (低)	

基本事項02 都市機能の集約

指標	都市機能の集約割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【都市計画課】	%	67.0	67.0	75.0	75.0	
評価	(状況) 都市機能の集約割合は75.0%で、前年度及び総合計画基準値(H28)と比較し、8.0ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 文化施設「風流のはじめ館」の完成により、利便性の高い都市施設の集約が図られていることが要因と考えられます。					(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標	公園の整備・維持管理に対する住民満足度(参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【都市計画課】	%	81.1	-	79.9	→	
評価	(状況) 公園の整備・維持管理に対する住民満足度は79.9%で前回(H30)85.1%と比較すると5.2ポイント減少しておりますが、総合計画基準値(H28)と比較すると1.2ポイントの減少となりました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、公園施設の一部を利用制限したことが要因と考えられます。					--- 目標達成度 ---	

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 適切な土地・建物の利用推進

基本事項 02 都市機能の集約

基本事項 03 安全で快適な公園緑地化の推進

基本事項 04 良好な都市景観の創出・維持

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標	公園維持管理上の不具合等による支障件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【都市計画課】	件	30	25	23	27
評価	<p>(状況) 公園維持管理上の不具合等による支障件数は23件で、前年度と比較し2件減少、総合計画基準値(H28)と比較し7件減少しており順調です。内訳は遊具などの不具合が10件、樹木の伐採に関するものが4件、利用やマナーによるものが7件、除草によるものが2件となっています。</p> <p>(原因) 公園施設長寿命化計画に基づき、遊具や樹木等の日常点検を行っているため、支障件数が減少したと考えられます。</p>					(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標	市民一人当たりの都市公園供用面積	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【都市計画課】	m ²	11.3	11.8	11.9	11.6
評価	<p>(状況) 市民一人当たりの公園使用面積は11.9m²で、前年度と比較し0.1m²増加し、総合計画基準(H28)と比較すると0.6m²増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 墓地公園の供用面積を毎年増やしていることが主な要因と考えられますが、指標の分母である総人口が減少していることも要因の一つです。</p>					(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事項04 良好な都市景観の創出・維持

指標	都市景観が良好だと思ふ市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【都市計画課】	%	82.6	-	87.6	→
評価	<p>(状況) 都市景観が良好だと思ふ市民の割合は87.6%で、前回(H30) 85.8%と比較すると1.8ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると5.0ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 市内中心部では、南部地区都市再生整備事業が完了し、風流のはじめ館や、石畳舗装の道路などが整備されたことにより、まちなみの一体感が生まれたことが要因と考えられます。</p>					(向上) 目標達成度 (達成)	

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 03 水道水の安定供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
水道利用者	安全・安心な水の安定供給がなされています。

施策の成果状況と評価

指標	水道施設の不具合における断水件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【水道施設課】	件	9	2	1	0	☀ (向上)
評価	(状況) 水道施設の不具合による断水件数は1件(漏水)で、前年度と比較すると1件減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると8件減少しており、順調です。 (原因) 水道施設の維持管理を適正に実施したことによるものです。					目標 達成度	■ (高)
指標	水道水が安全・安心だと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【水道施設課】	%	88.0	—	91.5	→	☀ (向上)
評価	(状況) 水道水が安全・安心だと思う市民の割合は91.5%で、前回(H30) 89.4%と比較し2.1ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると3.5ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 定期的な水質検査の結果公表や適切な施設の維持管理を実施していることが原因として考えられます。					目標 達成度	■ (中)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 水道施設の耐震化

基本事項 02 水道施設の適切な維持管理

基本事項 03 水道事業の経営安定化

基本事項01 水道施設の耐震化

指標	浄水施設の耐震化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【水道施設課】	%	38.5	38.5	38.5	91.2
評価	<p>(状況) 浄水施設の耐震化率は38.5%で、前年度及び総合計画基準値(H28)と比較し横ばい状態ですが、令和元年度福島県の浄水施設耐震化率の29.6%と比べると8.9ポイント上回っています。</p> <p>(原因) 平成23年度から西川浄水場(19,500m³/日)の改築事業を進めておりますが、完了が令和3年度であるためです。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成</p> <p>(低)</p>	

基本事項01 水道施設の耐震化

指標	基幹管路の耐震化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【水道施設課】	%	43.8	46.8	48.6	47.0
評価	<p>(状況) 基幹管路の耐震化率は48.6%で、前年度と比較すると1.8ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると4.8ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 西川浄水場の導水管や長沼送水管の布設替を実施したためです。</p>					<p>(向上)</p> <p>目標達成</p> <p>(達成)</p>	

基本事項02 水道施設の適切な維持管理

指標	浄水施設の不具合件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【水道施設課】	件	1	1	1	0
評価	<p>(状況) 浄水施設の不具合件数は1件(岩淵4号取水井取水ポンプ)で、前年度及び総合計画基準値(H28)と同数で、横ばいです。</p> <p>(原因) 経年劣化等により突発的な故障等が発生しますが、年間を通した施設点検等により、計画的に分解整備や機器の更新を実施しているためです。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成</p> <p>(高)</p>	

基本事項02 水道施設の適切な維持管理

指標	配水管の漏水件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【水道施設課】	件	15	9	7	7
評価	<p>(状況) 配水管の漏水件数は7件で、前年度から2件減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると8件減少しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 経年劣化等により漏水が発生しますが、計画的な更新に併せて維持管理業務を適正に進めているためです。</p>					<p>(向上)</p> <p>目標達成</p> <p>(達成)</p>	

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 水道施設の耐震化

基本事項 02 水道施設の適切な維持管理

基本事項 03 水道事業の経営安定化

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標	有収率 【水道施設課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		%	90.5	89.6	90.8	92.0	(横ばい)
評価	(状況) 有収率は90.8%で、前年度と比較すると1.2ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると0.3ポイント増加しており、目標値に近い値となっています。 (原因) 水道施設(管路等)の更新に伴い、老朽管などからの漏水等の改善が進められているためです。					目 標 達成度 ■■■ (中)	

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標	料金回収率(参考値) 【経営課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		%	107.8	103.7	97.9	100.0以上	---
評価	(状況) 料金回収率は97.9%で、前年度と比較すると5.8ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると9.9ポイント減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の対策として水道料金の軽減(80,435千円)を行ったことにより、給水収益が減少したためです。なお、軽減分は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、全額補填されました。					目 標 達成度 ---	

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標	経常収支比率 【経営課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		%	116.4	110.0	109.9	100.0以上	(横ばい)
評価	(状況) 経常収支比率は109.9%で、前年度と比較すると0.1ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると6.5ポイント減少しましたが、ほぼ横ばいで、目標値は達成しています。 (原因) 減価償却費が129,012千円増加するなど、経常費用が増加しているためです。					目 標 達成度 ■■■ (達成)	

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 04 生活排水対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、河川水質	生活排水処理施設により、市民の生活排水が適正に処理され、下流域の河川や湖沼などの水環境が向上します。

施策の成果状況と評価

指標	汚水処理人口普及率（公共下水道・農業集落排水施設・合併処理浄化槽の合計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【下水道施設課】	%	81.2	83.2	83.4	85.4
評価	<p>(状況) 汚水処理人口普及率は83.4%で、前年度と比較すると0.2ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると2.2ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 公共下水道管きよの整備が進んだことにより、供用開始区域が拡大したことや、単独処理浄化槽及び汲取り便槽から合併処理浄化槽への転換が進んでいることから、汚水処理人口普及率が向上したものです。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 生活排水処理施設の整備

基本事項 02 水洗化の促進

基本事項 03 処理場・下水道管の適切な維持管理

基本事項 04 公営企業の経営安定化

基本事項01 生活排水処理施設の整備

指標	公共下水道整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【下水道施設課】	%	73.9	78.7	80.0	84.2
評価	(状況) 公共下水道整備率は80.0%で、前年度と比較すると1.3ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると6.1ポイント増加しており、順調です。 (原因) 第1処理分区 (和田道、朝日田地内) と第3処理分区 (森宿地内) の整備を実施したことにより、下水道施設を使用できる区域面積が平成28年度の926haから1,002haへ増加したことによるものです。					目標達成度 ■■■ (中)	

基本事項01 生活排水処理施設の整備

指標	転換による合併処理浄化槽設置基数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【下水道施設課】	基	1,929	1,977	1,993	2,279
評価	(状況) 単独処理浄化槽及び汲取り便槽からの転換による合併処理浄化槽設置基数 (累計) は1,993基で、前年度との比較では16基増加し、総合計画基準値 (H28) との比較では64基増加しており、順調です。 (原因) 単独処理浄化槽及び汲取り便槽からの転換により合併処理浄化槽を設置する場合の上乗せ補助を、平成30年度から実施したことなどが要因と考えられます。					目標達成度 ■■■ (低)	

基本事項02 水洗化の促進

指標	公共下水道水洗化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【下水道施設課】	%	79.7	79.6	80.7	81.5
評価	(状況) 公共下水道水洗化率は80.7%で、前年度と比較すると1.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.0ポイント増加しており、順調です。 (原因) 公共下水道の整備が進んだことで供用開始区域が拡大し、接続者が増加したことや、未接続者への通知及び市ホームページ掲載によるお知らせなどを行ったことなどにより、水洗化率が増加したものと考えられます。					目標達成度 ■■■ (中)	

基本事項02 水洗化の促進

指標	農業集落排水施設水洗化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【下水道施設課】	%	88.8	89.2	89.3	94.2
評価	(状況) 農業集落排水施設水洗化率は89.3%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.5ポイント増加しており、順調です。 (原因) 各地区の整備が完了し、未接続者に対して通知や、市ホームページ掲載によるお知らせなどにより、水洗化率が増加したものと考えられます。					目標達成度 ■■■ (低)	

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 生活排水処理施設の整備

基本事項 02 水洗化の促進

基本事項 03 処理場・下水道管の適切な維持管理

基本事項 04 公営企業の経営安定化

基本事項03 処理場・下水道管の適切な維持管理

指標	管きよの維持管理の不具合・トラブル件数 【下水道施設課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		件	3	2	4	0	
評価	<p>(状況) 管きよの不具合やトラブル件数は4件で、前年度と比較し2件増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1件増加し順調ではありません。</p> <p>(原因) 管きよの定期点検及び清掃を年3回実施しておりますが、令和2年度の冬季は気温の低い日が多く、油分の固化化が原因で管きよ閉塞事案があったためです。</p>					目 標 達成度 ■■■ (低)	

基本事項03 処理場・下水道管の適切な維持管理

指標	処理場の維持管理の不具合・トラブル件数 【下水道施設課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		件	0	0	1	0	
評価	<p>(状況) 処理場の維持管理の不具合・トラブル件数は1件で、前年度及び総合計画基準値 (H28) と比較し1件増加しています。</p> <p>(原因) 処理場の維持管理については専門知識を有する業者に委託し、また、遠方監視システムを導入し、迅速な対応を行っておりますが、施設の老朽化により、設備・機器に不具合が発生したためです。</p>					目 標 達成度 ■■■ (中)	

基本事項04 公営企業の経営安定化

指標	公共下水道使用料単価 【経営課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		円/m ³	146	175	176	150	
評価	<p>(状況) 公共下水道使用料単価 (収益) は176円/m³で、前年度と比較すると1円/m³増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると30円/m³増加しており、目標値を達成し、経営の安定化が図られています。</p> <p>(原因) 平成30年4月1日に料金改定を行ったことや令和元年10月1日に消費税率引き上げに合わせ、料金改定を行ったことにより、調定額が増えたためです。</p>					目 標 達成度 ■■■ (達成)	

基本事項04 公営企業の経営安定化

指標	農業集落排水処理施設使用料単価 【経営課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		円/m ³	174	150	170	175	
評価	<p>(状況) 農業集落排水処理施設使用料単価 (収益) は170円/m³で、前年度と比較すると20円/m³増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると4円/m³減少しており、横ばいです。</p> <p>(原因) 地方公営企業の全適用により、令和元年度は打切決算による出納整理期間の収入分が減少しましたが、令和2年度は例年並みとなりました。</p>					目 標 達成度 ■■■ (中)	

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 05 環境の保全と循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、自然環境	豊かな自然環境が保全されています。

施策の成果状況と評価

指標	自然環境に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【環境課】	%	87.9	-	89.7	→
評価	(状況) 自然環境に満足している市民の割合は89.7%で、前回(H30) 91.2%と比較すると1.5ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.8ポイント増加しましたが、市民アンケートによる指標であり、統計誤差の範囲内であることから、横ばい(現状維持)状態であり、おおむね目標値を達成しています。 (原因) 河川、公園、森林や農村環境などに代表される緑豊かな本市の自然環境が適切に保全されていることが、市民に理解されているものと思われます。		(%)				■■■ (高)
							☀ (向上)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 低炭素社会の推進

基本事項 02 水と大気的环境保全

基本事項 03 放射線対策の推進

基本事項 04 生活衛生の向上

基本事項 05 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進

基本事項01 低炭素社会の推進

指標	市管理施設の二酸化炭素排出量 【環境課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		t-CO2	9,743	8,989	8,879	7,840	
評価	<p>(状況) 令和2年度市管理施設の二酸化炭素排出量は8,879t-CO2で、前年度と比較し110t-CO2減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると864t-CO2減少しており、基準値より向上している状況ではありませんが、目標値の計画どおりには進んでいません。 (原因) 新たな施設である市庁舎や市民交流センターなど、省エネルギー設備を導入しているものの、当初計画時期とは、市管理施設の様相が変化しており、エネルギー使用量の削減が進んでいないことが原因と考えられます。</p>						<p>☀️ (向上)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ (低)</p>

基本事項01 低炭素社会の推進

指標	住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数 【環境課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		件	1,247	1,693	1,855	1,700	
評価	<p>状況) 住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数累計は1,855件で、前年度と比較し162件、総合計画基準値(H28)と比較すると608件増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 再生可能エネルギー利用に対する意識が浸透してきているとともに、太陽光発電設備の低廉化が図られ、システムの導入が進んできていることが原因と考えられます。</p>						<p>☀️ (向上)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>🏠 (達成)</p>

基本事項02 水と大気的环境保全

指標	水質のBOD基準値を上回った件数 【環境課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		件	0	1	0	0	
評価	<p>(状況) 水質のBOD(生物化学的酸素要求量)基準値を上回った件数は0件です。水質測定を実施している13河川・22地点(6回/年)すべてにおいて、BODが年平均値基準を満たしています。 (原因) 下水道等の普及、事業所や住民意識の向上などにより、河川水質が安定していることが原因と考えられます。</p>						<p>☀️ (向上)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>🏠 (達成)</p>

基本事項02 水と大気的环境保全

指標	大気中の基準値を上回った日数(光化学オキシダント昼間の1時間値が0.06ppm以上) 【環境課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		日	27	33	-	0	
評価	<p>(状況) 大気中の光化学オキシダントが基準値を上回った日数は、令和4年2月以降に公表される予定の県大気汚染測定結果より取得するため、実績値は取得できませんでした。なお、令和元年度の実績値は33日であり、総合計画基準値(H28)を6日上回っていますが、年平均値は0.033ppmであり、光化学スモッグ注意報が発令される「1時間値0.12ppm」からすると、観測数値は低いものとなっています。 (原因) 年平均値が低い要因としては、工場設備の機能向上や、ハイブリット自動車の導入が進んできていることが原因と考えられます。</p>						<p>---</p> <p>目 標 達成度</p> <p>---</p>

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 低炭素社会の推進

基本事項 02 水と大気環境の保全

基本事項 03 放射線対策の推進

基本事項 04 生活衛生の向上

基本事項 05 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進

基本事項03 放射線対策の推進

指標	搬出が完了した除去土壌等の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【環境課】	%	3.4	50.6	90.3	100.0	☀ (向上)
評価	(状況) 搬出が完了した除去土壌等の割合は90.3%で、前年度と比較すると39.7ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると86.9ポイント増加しました。国から示された搬出可能量に対して、順調に搬出しています。 (原因) 早期搬出について国に要望等を行ってきた結果、国からの予算配分額が増加したことによるものです。					目標 達成度	■ ■ ■ (高)

基本事項04 生活衛生の向上

指標	生活衛生敷地管理(雑草、害虫等)に関する苦情件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【環境課】	件	40	40	44	32	☔ (低下)
評価	(状況) 生活衛生敷地管理(雑草、害虫等)に関する苦情件数は44件で、前年度と比較すると4件増加し、総合計画基準値(H28)と比較して4件増加しました。苦情内訳としては、「隣地の雑草等の繁茂」が35件、「ハチの巣駆除」が9件でした。 (原因) 天候条件が良く、雑草等の育ちが良かったことや、空地・空き家などが増加してきており、適正に管理されていないことが要因と考えられます。					目標 達成度	■ ■ ■ (低)

基本事項05 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進

指標	市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【環境課】	g	821	886	841	743	☔ (低下)
評価	(状況) 市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量は841gで、前年度と比較すると45g減少していますが、総合計画基準値(H28)と比較すると20g増加しており順調ではありません。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により事業系可燃ごみが減少したものの、家庭系可燃ごみは増加したことが要因と考えられます。					目標 達成度	■ ■ ■ (低)

基本事項05 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進

指標	リサイクル率(再資源化率)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【環境課】	%	16.2	15.2	15.8	17.0	♻️ (横ばい)
評価	(状況) リサイクル率(再資源化率)は15.8%で、前年度と比較して0.6ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると0.4ポイント減少しております。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、ごみ排出量が増加したことと、資源回収を行う各団体の資源回収量が減少したことが要因と考えられます。					目標 達成度	■ ■ ■ (中)